

住みやすい、
の土台をつくる会社。

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年9月1日～ 2024 年8月31日)



住みやすい、の土台をつくる。



共栄建設株式会社

発行日： 2024年11月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
認証・登録の対象組織・活動	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

私共は昭和51年に創業し今年で46年目を迎えるまでに成長して参りました。今日までの成長過程では、品質・安全を第一にお客様満足度の向上を目指し邁進して来ました。

しかし私達がこの地で事業を行い生活し発展していく上で一番大事なこと（環境）について少し蔑ろにしてきたのではないのでしょうか。今後は品質・安全・環境を意識し改善に努めなければならないと思っております。その為にもこのエアアクション21を取得し、社員全員が環境について再認識し改善に努めそして弊社一丸となって環境整備、改善に努め、より働き易くそして地球環境に配慮した構造物を作り上げ提供する事がこれからの私たちの使命であり目標です。しっかりと目標を意識し達成出来るように勤め、未来に繋げる、残せる企業になれるよう共に成長し発展して参りましょう。

環境経営方針

<環境経営理念>

弊社経営理念である「住みやすいの土台をつくる」を環境経営理念にも掲げます
住みやすいとは勿論よい環境を意味します。より安全で安心できる空気や水、地球資源を大切にし次世代に残せる環境を意識した取組を行う事で地域社会に貢献します！

<環境保全への行動指針>

- 1．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2．創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3．廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
- 4．適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5．環境に配慮した工事に努めます。
- 6．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
- 7．環境経営方針は、全従業員に周知します。

※課題とチャンスを踏まえて活動します。

制定日：2022年9月1日

代表取締役社長 真鍋 考蔵

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

共栄建設株式会社
代表取締役社長 真鍋 考蔵

(2) 所在地

本社 兵庫県多可郡多可町中区奥中952
倉庫 兵庫県多可郡多可町中区奥中塩坪963-5

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工事主任 桑村 直毅 TEL : 0795-32-0675
担当者 経理・事務 真鍋 麻理 FAX : 0795-32-2959

(4) 事業内容

・一般建設業 兵庫県知事許可（般—2）第352585号
【建設業の種類】 建築工事業
・特定建設業 兵庫県知事許可（特—2）第352585号
【建設業の種類】 土木工事業・とび、土工工事業・舗装工事業・塗装工事業・造園工事業・水道施設工事業

(5) 事業の規模

売上高	26380 万円				
	本社	倉庫			合計
従業員	名	13 名			13名
延べ床面積	m ²	60 m ²	400 m ²		460m ²

(6) 事業年度

2023年9月1日～2024年8月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 共栄建設株式会社
対象事業所 : 本社
倉庫

対象の活動 : ・総合建設業

□事業や製品(商品)の紹介

主な事業の紹介

公共工事

道路工事・橋梁補修工事・治山工事・河川工事(災害復旧・護岸工事)

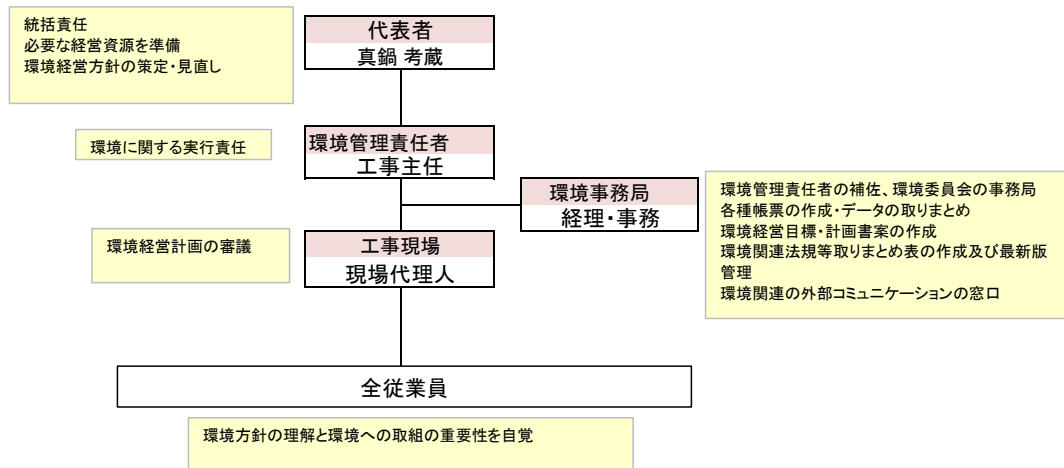
下請け工事

建築基礎工事・建築外構工事

民間元請け工事

建築工事・基礎工事・造成工事・外構工事・その他土木工事全般

□環境経営組織体制及び役割・責任・権限図(職制)



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度 (9月～8月)
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	145,865	148,124	98,916
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	2,070	1,890	1,845
産業廃棄物排出量	kg	639,942	273,300	149,417
総排水量	m ³	23	28	27

※二酸化炭素排出係数 0.311 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

※二酸化炭素総排出量には灯油を含む

□環境経営目標及びその実績

項 目	年 度	2022年 (基準値)	2023年 (目標)	2023年 (実績)	評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,884	2,826	2,838	×	2,769	2,740
	基準年度比		98%	98%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	81,346	79,719	96,940	×	78,905	78,092
	基準年度比		98%	119%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	84,229	82,545	99,778	×	81,674	80,831
一般廃棄物の削減	kg	1,890	1,796	1,845	×	1,758	1,701
	基準年度比		95%	98%		93%	90%
混合廃棄物の削減	kg	3,640	3,276	5,070	×	2,912	2,548
	基準年度比		90%	139%		80%	70%
建設副産物の再資源化率の向上	%	26%	38%	95%	○	40%	42%
水道水の削減	m ³	28	26.6	27.0	×	26	25
	基準年度比		95%	96%		92%	90%
環境に配慮した工事の推進	行動目標 (次項による)						

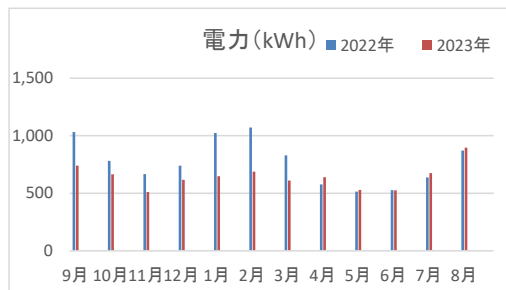
※化学物質は使用していません

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素排出量削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	猛暑による暑さの為、夏場のエアコン使用による電力使用量が大幅に増加してしまった。また昨年度よりも残業が多かった為使用量が増加したと思われる。節電は一年を通して日々心がけてきているが、更に昼休憩、不在者周辺の不要照明の消灯を徹底するなど、少しでも電気を使い過ぎないようにしていく。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	◎	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・作業・業務の見直しによる効率化	◎	



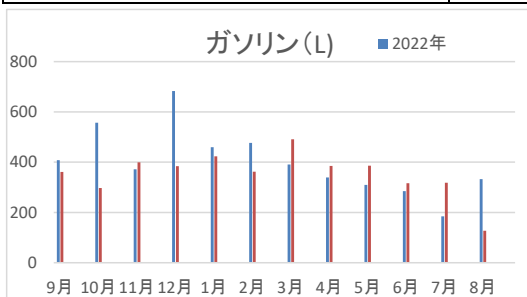
取組紹介欄

節電の呼びかけ



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	1,031	781	666	740	1,024	1,072	830	578	514	527	638	872
2023年	739	664	510	616	649	688	610	639	529	524	676	896

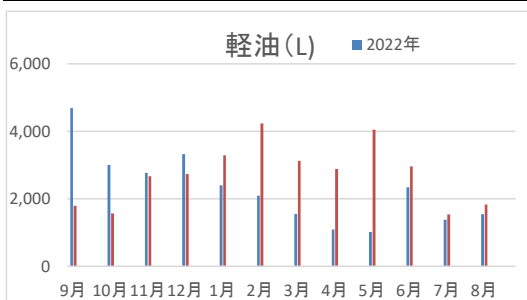
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今期、ガソリンの使用量は減少したが、軽油に関しては重機の稼働が多い現場があった為、軽油使用量が増加したと思われる。工事によって変動がある項目ではあるが今後も意識して取り組んでいく。
・アイドリングストップ	○	
・急発進、急停車の禁止	○	



取組紹介欄

- ・適正な速度で運転する
→ 法定速度を遵守する
- ・急発進、急停車を禁止する
- ・アイドリングストップの推進

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	408	557	372	683	460	477	391	339	310	285	185	333
2023年	361	297	399	384	423	362	491	385	386	316	318	127

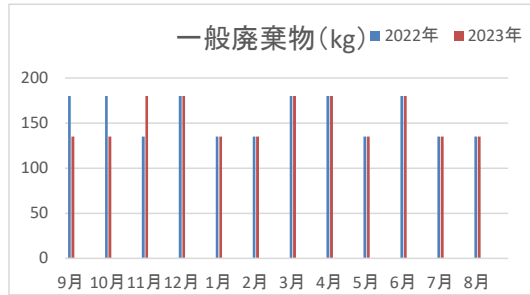


取組紹介欄

- ・適正な速度で運転する
→ 法定速度を遵守する
- ・急発進、急停車を禁止する
- ・アイドリングストップの推進

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	4,689	3,002	2,769	3,326	2,402	2,096	1,552	1,091	1,021	2,345	1,378	1,542
2023年	1,792	1,565	2,669	2,733	3,289	4,237	3,123	2,880	4,049	2,960	1,539	1,831

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	一年を通して削減に努めることができた。ゴミの削減は日々心掛けてできているので古紙、封筒など活用できるものはできる限り活用し、今後もゴミの削減に努める。
・分別の徹底	○	
・ミスプリントの再利用	◎	
・梱包材のリサイクル	◎	



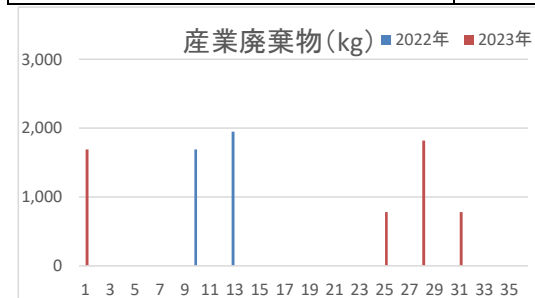
取組紹介欄

ゴミの分別



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	180	180	135	180	135	135	180	180	135	180	135	135
2023年	135	135	180	180	135	135	180	180	135	180	135	135

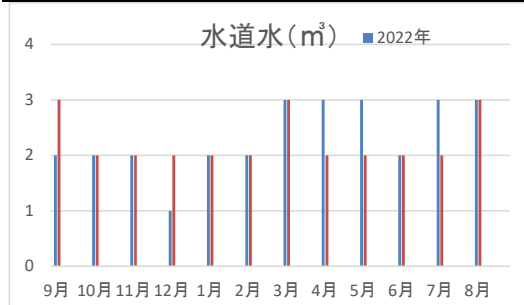
混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	受注に左右される項目なので単に少なくなったとは言えないが、今後なるべく産廃物を出さないような材料の使い方をしたい。今後も分別の徹底、リサイクルを意識した工事に取り組んでいく。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・徹底した分別により削減	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	0	0	0	1,690	1,950	0	0	0	0	0	0	0
2023年	1,690	0	0	0	0	0	0	0	780	1,820	780	0

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	建設副産物の処分については再資源化できている。引き続き、重点的に再資源化に取り組んでいく。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標を達成することができた。節水の啓発ポスターの掲示、節水への呼びかけをし、社員一人ひとりが意識したことにより、目標達成に繋がったと考えられる。引き続き節水に努める。
・節水ポスターの掲示	◎	
・水漏れ点検の実施	◎	



取組紹介欄

節水ポスターの掲示



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	2	2	2	1	2	2	3	3	3	2	3	3
2023年	3	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	3

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	今期においては苦情、クレームはなかった。今後も継続し、苦情、クレームが発生した場合は関係者で速やかに対処する。
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実施）	○	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	それぞれ得意とする分野、技術を従業員同士互いに伝えるなど技術向上できている。広告動画や求人広告を活用するなどし、引き続き良い人材確保に取り組んでいく。
・企業PRによる顧客獲得	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○	
・働き方改革	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出	遵守
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	遵守
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限	遵守
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等	遵守
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物	遵守
騒音規制法	空気圧縮機、送風機	遵守
振動規制法	空気圧縮機	遵守
水質汚濁防止法	排水基準の順守	遵守
顧客要求事項	環境管理、品質管理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 令和6年5月13日	■実施場所 本社倉庫・資材置場
■参加者： 真鍋、桑村、白髪、三村、石塚、島田、木戸口、岡山	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 声を掛け合い、手順書通りにスムーズに訓練することができていた。消火器の取り扱いも問題なかった。	
■実施状況の様子	
工事現場の資材置場で火災の発生を想定して消化訓練を行う。	
火元に向かって消火器にて消火活動を行う	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 令和6年5月13日	■実施場所 本社倉庫・資材置場
■参加者： 真鍋、桑村、白髪、三村、石塚、島田、木戸口、岡山	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価： 手順良くできた。吸油マットの取り扱いも問題なかった。	
■実施状況の様子	
工事現場での重機の給油中に油流出を想定して、油の流出を防ぐための訓練を実施。	
土のうで囲み、給油マットを敷き、油を吸着させ撤去。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年12月1日

エコアクション21への取り組みも定着してきました。この活動を社員全員が認識し、環境負荷に対して理解を深め、協力して取り組んでいます。工事内容によっては未達成となる項目もありますが、今後も削減努力と法令遵守を目標に取り組んで参ります。今後も環境に配慮した工事に努め、目標に向かって全社員、協力会社とも一丸となって取り組み、環境問題に対し更なる意識を高め活動して参ります。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり